

社内AIポリシー（EU AI法 対応版）

1. 目的（Purpose）

- ・当社従業員がAI技術を安全かつ適切に活用し、事業価値向上とリスク低減を図るための基本方針を示します。
- ・EU AI法および国内外ガイドラインを踏まえて作成しています。

2. 適用範囲（Scope）

- ・生成AI（ChatGPT、Gemini 等）
- ・AI機能を含むSaaSの利用
- ・社内開発AIシステム
- ・取引先提供AIの利用
- ・すべての従業員・関連スタッフに適用します。

3. AI利用の基本原則（Principles）

- ・人間主体の原則（Human-in-the-loop）
- ・安全性・透明性の確保
- ・プライバシーと機密保持
- ・国内外法令の遵守

4. 禁止事項（Prohibited Actions）

- ・個人情報、社外秘情報の外部AIへの入力
- ・著作権・第三者権利を侵害する利用
- ・AI出力の無検証での利用

5. AI利用時の注意事項（Precautions）

- ・出力内容の事実確認を行うこと
- ・高リスク領域（採用・信用・医療等）では必ず事前相談
- ・利用規約・プライバシーポリシーの確認

6. ベンダー利用・外部委託（Vendor Management）

- ・契約前に以下を確認してください：
 - ・データ保存場所・ログ保管期間
 - ・モデル学習への利用有無
 - ・AI法への準拠状況

7. AI利用ログ (AI Usage Logging)

- ・ 利用目的・AIサービス名
- ・ 入力したデータの概要
- ・ 出力の利用範囲

8. AIリテラシー教育 (AI Literacy Training)

- ・ 定期勉強会、eラーニングの受講が推奨されます。
- ・ EU AI法に関する基本理解の共有。

9. 高リスク領域での利用 (High-risk Use Cases)

- ・ 採用・信用・医療などでは追加のリスク評価が必要となる場合があります。
- ・ ログ保存・透明性確保を検討してください。

10. 既存AI (Legacy Systems) の扱い

- ・ 目的変更や大幅な改修がある場合は再評価が必要となる場合があります。
- ・ 2027年8月を一つの節目として整理することが検討されます。

11. 相談窓口 (Contacts)

- ・ 情報システム部門
- ・ 法務・コンプライアンス部門

12. 改訂 (Updates)

- ・ 本ポリシーは技術と法制度の進展に応じて更新されます。
- ・ 最新情報はEU官報およびAI Officeの発表を確認してください。